

日本福音ルーテル教会 女性会連盟 第 24 期 159 号

# 会報



総主題「神の恵みによって共に生きる」  
副主題「喜び、励まし合い、思いを一つにし、平和を求める」

2019. 10. 15

発行 日本福音ルーテル  
教会女性会連盟  
〒169-0072 東京都新宿区  
大久保 1-14-14  
発行者 中原 通江  
編集者 澤田小枝子  
印刷 平山印刷出版

## 主題聖句

「わたしたちはキリストと共に死んだのなら、  
キリストと共に生きることにもなると信じます。」  
ローマの信徒への手紙 6章8節

あなたへ

生きよ



この世に生を受けて以来、私たちの歩みは他者との関わりの中で進められていきます。家族、幼稚園や学校、職場、そこで出会った友人や新たな家族など、相手と良好な関係を築けるならば嬉しいことです。相手に「必要とされる」ということは時に重荷になりますが、自分の存在が不可欠なのだ証明されます。一方、相手から喜ばれない、感謝されないことで、自分の存在が不要であるかのようにも感じてしまいます。教会でお話を聴くと、お一人おひとりとその生活を担っておられる働きの多さに驚かされます。教会でも様々な当番、教会員同士の支え合い、教会単位や地区、全国での女性会の働きなど、関わりの深さに比例して役割も増えてまいります。熱心な信仰のゆえに、それらを実

小倉教会 直方教会 牧師 永吉穂高  
行けるのでしょうか。  
イエスは、言われます。  
「もしあなたがたにからし種一粒ほどの信仰があれば、この桑の木に、『抜け出して海に根を下ろせ』と言っても、言うことを聞くであろう」  
(ルカ17:6)。  
薄々気づいてはいましたが、どうやら私にはからし種一粒ほど小さな信仰さえ無いようです。そして、この信仰を燃やして働くならば燃え尽きるのも一瞬でしょう。  
私たちは、自らの信仰を原動力とするものではありません。神は何かを為す前の、まだ何者でもない私たちへと「生きよ」(エゼキエル16:6)と呼びかけます。つまり神にとって、あなたが必要不可欠な存在だということ。ここに神と共に生きる歩みの原点があるのです。